



キッズだより

令和6年2月 第23号
たかといちどいキッズ



♪かごめ かごめ かごのなかのとりは いついつでやる

よあけのばんに つるとかめがすべった うしろのしょうめんだあれ♪

このわらべうたは、友だちの名前を呼べるようになり、その声を聞き分けることができるようになった頃から楽しめるわらべうたです。保護者の皆さんも、一度は遊ばれたことがあるかと思います。私もうっすらと子どもの時の記憶が残っていました。保育士になるための実習に行った時、子どもたちが楽しんでいる様子を見て、「あっ懐かしいな」と思い出しました。それからは、この遊びを子どもたちとたくさん楽しんでいます。遊ぶ中で、たくさんの発見があります。『うしろのしょうめんだあれ』で真ん中に座っている鬼に「〇〇ちゃん」と声をかけるのですが、声を掛ける子どもが恥ずかしくて言葉が出せなくても、「んー」という吐息や言葉にならない声に反応して、「あ！〇〇ちゃん」と当ててるのです。子どもってよく見ているし、友だちの特徴をよく知っているのだと思いました。声色を変えても友だちの声が分かるくらい洞察力が育ってきています。鬼に声を掛けたくて、うたの終わりに向けてゆっくり歩いたり早く歩いたりする子どももいます。計算しながら歩くってすごいなと思います。遊びながら見通しをもって行動する力や物事を考え行動する力が育まれていくのだと思います。

先月に保護者会と講演会を実施しました。コロナ禍ということで4年ぶりの対面の開催になりました。講演会のテーマは、「子どもの“食べない”には何があるの？」というお話でした。子どもは、お腹がすくと食べたいというスイッチが入ります。お腹をすかせるには、十分な運動をする。そしておやつが存在です。お茶一杯でもお腹が膨れます。ジュースやおやつを摂取するとお腹がいっぱいになり食べられなくなります。ということは、ご飯を食べてほしいのならおやつを量を考えないといけないということです。少しずつおやつを減らし、たくさん動いてお腹をすかせ食べたいというスイッチがONになるようにしていきましょう。

北坂 美知子



2月の予定



内科健診	1日（木）	節分の会	2日（金）
誕生会	7日（水）	救急訓練	14日（水）
発育測定	22日（木）	避難訓練	27日（火）
体育遊び（2歳児のみ）	29日（木）		





あさひ・ひかりぐみ



つまむ、引っ張る、回すなど、一つひとつの指の動きを楽しめるよう、様々な玩具と一緒に遊びました。保育士が積み木やポットン落としで遊んでいると、最初はじっと見つめていた子どもたち。次第に真似するようになり、積み木を1つずつ積み上げたり、パズルやポットン落としの型に合わせようと手を動かしたりし始めました。子どもたちの眼差しは真剣そのものです。じっくりと見守り、考えている姿を認めたり、できた時に喜んだりすると、子どもたちも嬉しそうに笑ったり拍手をしたりしていました。

靴下やズボンの着脱では、保育士が声を掛けて援助すると、手足を動かすことが増えました。仕方を知らせながら丁寧に援助し、衣服の着脱に興味をもてるようにしていきます。

ここかな？



ここだ！
できたよ



ドキドキ

今月のねらい：衣服の着脱に興味をもつ



ひかりぐみ



保育士と一緒に靴下を履き、帽子を被って上着を着て散歩に出掛ける準備をします。それができると玄関に行き「〇〇ちゃんの」と言いながら靴を持ってきて、自分で靴を履こうとしています。靴に足を入れマジックテープをとめて準備完了。「上手に履けたね」と声をかけると得意な表情を浮かべています。引き続き、その姿を認め、見守りながら履き方を伝えたり手を添えたりし自分で靴が履けるよう援助していきます。

子どもたちは、ままごとに興味をもち、皿や鍋の中に食材を入れて混ぜ、嬉しそうにしています。今月は、飲み物や器具なども使って、楽しめるようにしていきたいと思います。



はけたよ



みていてね



今月のねらい：保育士や友だちと一緒に、ままごとを楽しむ



ひかり・じゅんぐみ



子どもたちは、興味のある絵本を選んで保育士に読んでもらったり、友だちと一緒に読んだりすることを楽しみ、自分のお気に入りの絵本を見つけています。特に人気があるのは、「おべんとう」「ピーのおはなし」です。どちらにも食べ物が出てくるので、食べることが大好きな子どもたちならではのセレクトに納得です。友だちと一緒に絵本を見て、「あーん」と食べさせ合いの真似をしたり、繰り返しの言葉を使う面白さに共感したりし、今後も子どもと一緒に絵本を読みながら、楽しさを共有したいと思います。

食欲旺盛な子どもたち。スプーンを使って進んで食べています。楽しく食事しながら、少しずつマナーに意識がもてるように関わっていきます。



どれにしようかな



あーん



今月のねらい：楽しく食事しながら、マナーを意識して食べる



こぐみ

簡単な身の回りのことが自分でできるよう仕方を伝え、見守ったり、さりげなく手助けしたりしてきました。最近では、傍で見守っていると外に行く準備（靴下を履く、帽子をかぶる、上着を着る、靴を履く）や、食器の片付け、着脱、衣服の片付けなど、自分でしようとする姿が増えてきました。「じぶんでできた」と嬉しそうに保育士に伝えてきた時は、十分に認めることで自信に繋がるようにしています。今後も一人ひとりの様子に合わせて援助し、自分でする習慣がつくようにしていきます。

今月はたかとりちどり保育園の友だちと関わる機会を作り、保育士と一緒に遊びながら仲立ちをすることで、友だちと一緒に遊ぶ楽しさが感じられるようにしていきます。

おさらを
もっていくよ



かぶれた！



さいごまで
しめれるよ

今月のねらい：保育園の友だちと関わり、一緒に遊ぶことを楽し



《母になってからの挑戦》



みなさんは子育て支援員を知っていますか？ 私は、知りませんでした。自分の子どもが通う保育園に、パンフレットが置いてあり手に取り知りました。私は、憧れだったホテルマンになり昼夜関係なく働いていました。結婚を機にホテルマンを辞め、病院の看護助手として10年ほど働いてきました。

保育園を身近に感じるようになったのは、子どもができ預けるようになってからです。手に取ったパンフレットには、資格がなくても保育園で働きたい人を応援する支援センターがあること、国が定めた研修を各自治体で受講し修了すれば取得できる民間の資格（子育て支援員）があることが書かれていました。働きながら子育てすることは、思っていた以上に大変でした。保育園を楽しむ子どもと同時に、私自身も先生方に支えられ働けることに感謝する思いがありました。それがきっかけになり、自分にも何かできることがあればと思ったり、保護者のみなさんが安心して仕事に向かえる手伝いができればと思ったりして、子育て支援員になりたいと支援センターに登録をしました。支援センターでキッズを紹介していただき、施設見学をしてここで働くことになりました。そして働きながら、子育て支援研修を受講するという流れでした。講習は保育の基本と専門知識、実技は救命の訓練をしたり子どもと大人の視野の違いを体験したりしました。そして他の施設を見学に行き、数日間にわたり学んだことをレポートで提出しました。全て修了すると、子育て支援員として認定されます。



キッズで働き出して1年が経ちました。自分自身の子育てとは違い、たくさん子どもたちにふれあい、一人ひとりの思いを受け止めたり、危険がないように環境を整えたり、子どもの心を動かすことができる言葉かけなど、難しいことが山ほどありますが、先生や子どもたちから日々学びながら過ごしています。みなさんも忙しいとは思いますがその合間を縫って、何かに挑戦してみませんか？

平島 志織

